

研究紀要『災害復興研究』投稿規程

本誌は、被災者支援・復興まちづくり・復興法制度・復興報道など災害復興に関する実証的・理念的研究、評論、実践報告、資料解説、講演記録などを掲載する。

- (1) 投稿原稿は、未公表のものに限る。
- (2) 投稿資格は、原則として本研究所研究員に限る。また、共著原稿は、少なくとも執筆者の一人が本研究所研究員であることが必要である。ただし、研究所研究員から推薦があり編集委員会が認めた日本災害復興学会員である場合、特別に執筆依頼する場合はその限りでない。
- (3) 投稿原稿の採否決定、および修正は編集委員会の審査を経て行われる。ただし、編集委員会が認めるものについては、その限りではない。
- (4) 投稿原稿のうち査読付論文については、編集委員会が別途指名する2名の査読委員によって審査を行う。審査についての規定は以下の通りとする。
 - (ア) 編集委員会は、審査の結果に基づき、原稿について訂正ならびに短縮などを求めることができる。この場合、返送の日から2カ月以内に再提出されない時には、投稿を取り消したものとして取り扱う。
 - (イ) 編集委員会が訂正を要求した場合、投稿者は指摘された箇所の他の箇所に変更を加えてはならない。ただし、編集委員会の承諾がある場合はこの限りでない。
- (5) 『関西学院大学災害復興研究』に掲載された文章については、関西学院大学災害復興制度研究所がすべて著作権を保有する。
- (6) 投稿原稿の構成は以下の通りとする。
 - (ア) 第1ページには、原稿の種別（論文（査読付）、論文（査読無）、研究ノート、報告、評論、解説、講演記録のうちいずれか）、和文・英文のタイトル、著者名、所属、連絡先を記す。
 - (イ) 第2ページから原稿本文となる。本文冒頭には和文要約（500文字程度）、和文キーワード（3～5語）を記す。
 - (ウ) 論文（査読付・無ともに）に限り、最終ページに英文のアブストラクト（100～175ワード）、英文のキーワード（3～5語）を記す。論文以外は不要。
- (7) 投稿原稿はPCのWord・横書きを原則とし、A4用紙で横40字（全角換算）、縦30行とする。原稿量の目安は、次の通りとする。

論文（査読付・無）・研究ノート・報告	20,000字～30,000字
解説・評論	5,000字以内
- (8) 投稿原稿は、関西学院大学災害復興制度研究所 紀要担当（斉藤容子）まで電子メール（宛先のアドレス kiyou-entry@kwansei.ac.jp）にてWordファイルとPDFファイルを提出する。その際、氏名、所属先、所属先電話番号、投稿者の電話番号を明記する。